

# 事業計画書

## 第40年度

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

### 1 事業の方針

広島県から指定を受けている広島県栽培漁業センターの指定管理者（指定期間：平成28年度から平成32年度まで）として、水産資源の維持増大を図るため、通常の魚介類の種苗生産事業及び施設維持管理事業を実施するとともに、広島県と一部は公益財団法人広島県漁業振興基金からの委託によるガザミ、カサゴ、オニオコゼ及びキジハタ種苗の増産や、キジハタ種苗の量産化に向けた採卵技術開発を行う。また、近隣の種苗生産機関との連携を推進するため、他県と種苗の等価交換を行うとともに、広島県と広島市の連携について検討する。

種苗生産全般においては、従来から取り組んでいる安定生産に加え、より生残率を高める技術の開発を行うなど、さらに効率的な生産を図りつつ、本会の安定的かつ持続的な経営基盤の構築を目指す。また、栽培漁業の発展と定着を図るため、他機関との技術交流や情報交換、種苗放流等に関する指導啓発、学生等の見学や体験学習の受け入れなどを行う。

### 生産計画及び配布計画

魚種	生産計画			配布計画	
	大きさ	数量	用途	配布時期	配布先
マダイ	平均全長12mm	1,280 千尾	放流用	6月中旬 ～ 6月下旬	振興基金
メバル	平均全長25mm	320.0 千尾	放流用	3月下旬	豊竹東水産振興協議会
					振興基金
オニオコゼ	平均全長30mm	193.3 千尾	放流用	8月中旬 ～ 10月上旬	振興基金
		150.0 千尾			広島県(委託分)
		計 343.3 千尾			
ガザミ	全甲幅10mm(3齢)	604.0 千尾	放流用	5月下旬 ～ 7月中旬	振興基金
		1,500.0 千尾			広島県・振興基金(委託分)
	計	2,104.0 千尾			
ヨシエビ	平均全長12mm	860 千尾	放流用	8月中旬	振興基金
	平均全長25mm	185 千尾	放流用	8月下旬 ～ 9月上旬	振興基金
三倍体マガキ	付着コレクター 殻高3mm 16個以上/枚	※1 1,230 千枚	養殖用	4月上旬 ～ 11月下旬	県漁連
	一粒 10mm	※2 500 千個	養殖用	6月中旬 ～ 10月下旬	県漁連
アユ	平均体重0.5g	2,300 千尾	放流用	12月下旬 ～ 2月中旬	内水面漁連
カサゴ	平均全長25mm	100.0 千尾	放流用	3月中旬 ～ 3月下旬	振興基金
		200.0 千尾		3月中旬 ～ 3月下旬	広島県・振興基金(委託分)
	計	300.0 千尾			
キジハタ	平均全長50mm	40.0 千尾	放流用	9月下旬 ～ 10月下旬	1市・5漁協他
		26.0 千尾			広島県(委託分)
	計	66.0 千尾			

(独自事業分)

ヒラメ	平均全長50mm	376.5 千尾	放流用		外部委託生産
メバル	平均全長35mm	20.0 千尾	放流用		種苗等価交換用

※1 1,230千枚は2月末時点の要望枚数。種苗生産・配布検討会の計画枚数は1,500千枚

※2 500千個は2月末時点の要望見込み個数。種苗生産・配布検討会の計画個数は800千枚

## 2 事業の内容

### (1) 魚類及び甲殻類の種苗生産事業

通常の種苗生産事業においては、マダイ、オニオコゼ、ガザミ、ヨシエビ及びカサゴは公益財団法人広島県漁業振興基金（振興基金）と、メバルは振興基金及び豊竹東水産振興協議会と、アユは広島県内水面漁業協同組合連合会との契約に基づいて、各種苗の生産及び配布を行う。また、ヒラメ種苗は全数を外部委託によって生産を行い、各地区水産振興協議会に配布する。

瀬戸内水産資源増大対策事業においては、広島県と振興基金からの委託により、ガザミ（全甲幅 10mm サイズ(C3)）1,500 千尾とカサゴ（全長 25mm サイズ）200 千尾を、また同事業のうちオニオコゼ（同 30mm サイズ）150 千尾及びキジハタ（同 50mm サイズ）26 千尾を広島県からの委託により増産する。

キジハタ採卵技術開発等試験事業においては、キジハタの親魚養成及び採卵技術の確立を目的に、尾道市、大竹市漁業振興対策協議会、江田島市漁業振興協議会、呉漁業協同組合連絡協議会及び大野町・坂町・早田原・安芸津・三原市漁業協同組合からの委託と、振興基金の助成を受けて技術開発を行うとともに、種苗生産を実施する。

また、他県との種苗の等価交換については、メバル（全長 35mm サイズ）20 千尾を生産し、香川県が生産するキジハタ（同 35mm サイズ）5 千尾と交換する。

### (2) 三倍体マガキ種苗生産事業

三倍体マガキの種苗生産は、水産種苗配布契約に基づき、県立水産海洋技術センターの付着施設の利用と併せてコレクター1,230 千枚と一粒カキ 500 千個を生産し、広島県漁業協同組合連合会から県内カキ養殖業者に養殖用種苗として配布する。

### (3) 種苗生産技術開発及び放流・栽培漁業啓発事業

水産資源の維持増大及び有用魚介類の稚魚を安定的、効率的に生産をするため、生存率の向上を図る技術開発や生産技術の改良、新技術の導入、コストの削減などに取り組む。

また、一般者等に対して栽培漁業の普及・啓発等を行う。

- ① 三倍体マガキ増産に向けた小型水槽による生産技術改良試験
- ② 春季における三倍体マガキ幼生の付着率向上の検討
- ③ LED ライトを利用したマガキ給餌用藻類の増殖促進効果の検討
- ④ 小型 FRP 水槽を利用したオニオコゼの着底魚の生産効率向上の検討
- ⑤ ガザミ大型種苗(C3)の安定生産に向けた生産手法の確立
- ⑥ アユ新規系統(灰塚宮崎系, 宮崎交配系, 宮崎宮崎系)の放流効果の検証
- ⑦ アユ受精卵の粘着性除去による卵管理手法の技術改良及び運用拡大
- ⑧ 水産教室への職員派遣による栽培漁業普及、一般者の見学や、学生の職場体験学習の受け入れ及びホームページでの情報提供

### (4) センター管理事業

広島県との広島県栽培漁業センター施設の管理に関する年度別協定により、施設の維持修繕と機械設備の保守点検を実施する。